

所属研究団体日本遺伝学会 令和3年度 事業計画書

事業計画の概要

本会は遺伝に関する研究を奨め、その知識の普及をはかるため、下記諸事業を計画する。

1. 学会誌Genes & Genetic Systemsの発行(隔月1回)
 - (1) Vol 96 No.1~No.6を発行する。
 - (2) 日本出版貿易を通じて、国内外の購読機関に頒布する。
 - (3) 論文の別刷の注文を受ける。
 - (4) すぐれた論文を発表した著者にGGG PRIZE 2021を授与する。

2. 年次大会の開催(第93回大会を学習院大学目白キャンパスにて開催)
 - (1) 学会員を対象とした一般口頭発表および学生会員を対象としたポスター発表を開催する。
 - (2) 海外より研究者を招聘し、国際シンポジウムを開催する。
 - (3) 公募による特定のテーマでのワークショップを開催する。
 - (4) 通常のワークショップに加え、シニア会員企画による、長年の経験や立場の異なる視点から見たアドバイスなどを若い会員に伝えるワークショップを開催する。
 - (5) 総会を大会最終日に行う。
 - (6) 大会で発表する学生の大会参加旅費の一部を援助する。
 - (7) 男女共同参画推進の一環として大会へ参加するための支援を行う。
 - (8) 第91回大会Best Paper賞受賞者によるプレナリーワークショップを開催する。(92回大会が中止だったため)
 - (9) 一般口頭発表者から優れた成果を発表した者をBest Paper賞候補者として選考する。
 - (10) ポスター発表者(学部学生、修士課程の学生)からすぐれた発表を行った者にポスター賞(Young Best Poster賞)を授与する。
 - (11) 台湾(Academia Sinica)から学生2名を招聘し、大会での口頭発表や議論を通じて国際交流をはかる。また、大会後の日本人研究者への研究室訪問の支援を行う。
 - (12) 市民公開講座を最終日に開催する。

3. 日本遺伝学会創立100周年記念行事
 - (1) 第93回大会で国際シンポジウムを開催予定。
 - (2) 「遺伝学の百科事典(丸善)」を5月に刊行予定。

4. 春季分科会
新型コロナウイルス感染症がまだ収まっていないため、今年度は未定。

5. 木原賞・奨励賞の授与
 - (1) 遺伝学の分野で特に顕著な業績をあげた会員に木原賞を授与する。
 - (2) 遺伝学の特定の分野で優れた研究を活発に行い、将来の成果が期待される会員に奨励賞を授与する。

6. 遺伝学談話会の開催
各地区の会員の交流を目的に遺伝学談話会を開催する。今年度は開催地未定。

7. 委員会の活動等

(1) 男女共同参画推進委員会

本学会は男女共同参画推進学協会連絡会に加盟している。
年次大会中に大会へ参加するための支援を行う、また、ランチョンセミナーを開催する。

(2) 生物科学学会連合

本学会は「生物科学」の健全な発展のために各学協会と協力し活動を行っている。

(3) 自然史学会連合

本学会は自然史科学の研究・教育の振興を目的として、動物学・植物学・地学など主に基礎的な野外研究に関連する学会と協力して、関幅広い活動を進めている。

2021 年度予算

(単位千円)

収入

	摘要	予算
1	学会費	5,500
2	賛助会費	20
3	科学研究費補助金	4,000
4	事業収入	3,001
	雑誌売上	400
	投稿費	2,300
	別刷代	300
	利息	1
5	雑収入	119
	小計	12,640

支出

	摘要	予算
1	事業費	5,470
	雑誌製作費	3,400
	大会補助費	1,000
	遺伝学談話会補助費 (ナイトゼミナール代)	240
	大会学生旅費補助	750
	協力委員会分担金	80
2	評議委員会／幹事会費／委員会費	500
3	事務費	4,370
	雑誌発送費	450
	編集経費	3,020
	事務局経費	900
4	学会賞関係費	500
5	謝金	1,300
6	国際シンポジウム	500
	小計	12,640

